

# 個々の問題の出題の意図及びその正答率

## 社会 中学校1年

評価の観点等  
 1 社会的な思考・判断  
 2 資料活用の技能・表現  
 3 社会的事象についての知識・理解

分野	大問	問題番号		出題の意図	評価の観点等			正答率
		小問	通番		1	2	3	
地理的分野	1	1	1	世界を大まかにとらえるために必要な知識として、六大陸の名称や位置を理解している。			○	80.8
		2	2	地球上の位置関係を表すために必要な緯度や経度について理解している。			○	63.8
		3	3	「時差」が生まれる仕組みを理解し、日本と「時差」が少ない地点を考えることができる。	○		○	81.0
	2	1	4	都道府県の名前と位置を理解するとともに、日本の降雪量の資料を見て、ある地点の降雪量の状態を読み取ることができる。		○	○	94.2
		2	5	日本の降雪量についての資料から、日本の降雪の状態を読み取ることができる。		○		87.7
	3	1	6	地図を読み取るために必要な地図記号の名称やそれが表す意味を理解している。			○	86.1
		2	7	縮尺の意味を理解し、地形図に示された長さから実際の距離を読み取ることができる。		○		75.2
		3	8	地形図に表されている地域の様子を読み取り、その地域の特色について適切に考えることができる。	○	○		90.7
		4	9	地形図における方位の規則を正しく理解し、それを活用して、地形図に表されている地域の様子を読み取ることができる。		○		51.6
	歴史的分野	4	1	10	縄文時代と弥生時代の違いを考え、資料から見つけることができる。	○	○	
2			11	日本の古代に使われた道具の名称、使われた時代を理解している。			○	79.6
5		1	12	平安時代に摂関政治を行った代表的な貴族を理解している。			○	80.9
		2	13	奈良時代に仏教が日本各地に広がった理由を、資料から考えることができる。	○		○	78.8
		3	14	年表を活用して年表の分類の観点を考察し、判断することができる。	○			76.4
6		1	15	文化財を鎌倉時代の特色と結びつけてとらえ、資料から見つけることができる。		○	○	66.1
		2	16	飛鳥時代から安土桃山時代までの文化財を時代順に並べ、各時代の特色として理解している。			○	65.2
7			17	ヨーロッパ人の来航にかかわる課題を解決するために必要な資料を選択し、それを使って適切に説明することができる。	○	○		57.9